

2019年度 公益財団法人田口福寿会事業計画

わが国の歩みを振り返ってみますと、戦後の復興期、高度成長期、バブル経済期を経て、大きく経済成長を遂げてきました。その結果、物質面では大変豊かになりましたが、反面、日本人が伝統的に持っていた他者を思いやる心、「互助・共助」の精神が薄らいでしまいました。

また、急速に進行する少子高齢化・人口減少により、国の財政は厳しさを増し「公助」の力の低下が危惧されております。

そして、近年は若者等の雇用が不安定化し、経済的格差が広がっているとも言われている中、少子高齢化の流れに歯止めをかけ、誰もが生きがいを感じられる社会の実現に向けた取り組みが求められています。

このような時にこそ、民間非営利公益活動の果たす役割・使命は、ますます重要になってくると思われます。

当財団は、昭和42年に設立されて以来、基本理念であります相互扶助の精神に基づき、豊かで温かく優しさに満ちた地域社会を築くべく、福祉、教育、芸術文化、スポーツなどの各分野にわたって助成をしてまいりました。

とりわけこの2年間は、給付型の奨学金の充実に力を入れてまいりました。昨年度は大学生向け奨学金を創設し、また母子家庭の高校生向け奨学金について人員・金額ともに大幅増を行いました。さらに今年度からは、児童養護施設退所者等への奨学金を創設したところです。

今年度も引き続き相互扶助の精神に基づいて、各種助成事業を行います。その総事業費は5億4千8百万円であり、内訳は次のとおりです。

事業	内容	予算額	
1. 育英奨学事業	1. 田口育英金の支給	岐阜県内に在住し、高校への進学、就学を望みながら、主に経済的理由のために進学、就学が困難な母子家庭（ひとり親家庭）の生徒に対して育英金を支給する。	2億7,936万円
	2. AFS奨学金の支給	岐阜県内に在住し、かつ県下の高校・高専に在学するAFSの年間留学生に対して奨学金を支給する。	500万円
	3. 田口福寿会奨学金の支給	当財団が指定する岐阜県内5圏域の公立高等学校の卒業生で、国・公立大学へ進学をする者のうち、ひとり親家庭等のため、学費の支弁が困難な学生に対して、予約制による奨学金を支給する。	2,460万円

	4. 田口福寿会夢奨学金の支給	岐阜県内の児童養護施設、児童自立支援施設、児童心理治療施設又は自立援助ホームを退所した者もしくは里親又はファミリーホームへの委託を解除された者で、国内の大学等へ進学をする者のうち、保護者等からの経済的支援が見込まれず、学費の支弁が困難な学生に対して、予約制による奨学金を支給する。	225 万円
2. 助成事業	1. 福祉・教育・芸術文化・体育振興及び地域社会の発展振興につながる事業に対する助成	福祉・教育・芸術文化・体育振興などの各分野において公益性が高い事業及び地域社会の発展振興に効果的に貢献できる事業を行っている岐阜県内の団体等または県内で事業を行っている団体等に対して助成する。	1 億 9,979 万円
	2. 田口文庫の寄贈	岐阜県下の公立小学校ならびに特別支援学校に対し、学校教育の充実と学習環境の向上を目的として、学校が希望する図書を寄贈する。	3,700 万円
事業費合計			5 億 4,800 万円